



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

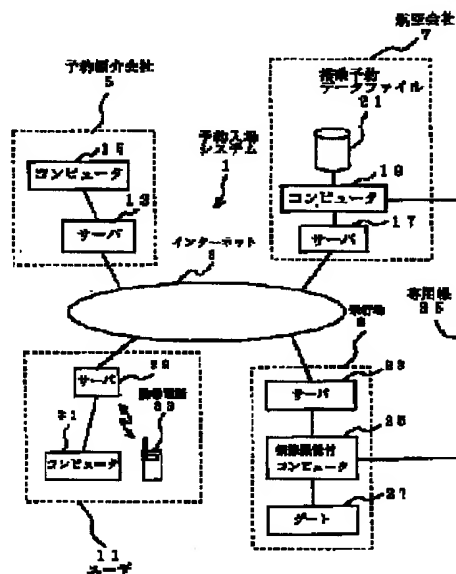
(11) Publication number: **11184935 A**(43) Date of publication of application: **09.07.99**(51) Int. Cl. **G06F 19/00**(21) Application number: **09348837**(71) Applicant: **JORDAN KK**(22) Date of filing: **18.12.97**(72) Inventor: **SATO TOSHIKAZU****(54) RESERVATION SYSTEM AND ADMITTANCE SYSTEM****(57) Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To confirm the reserved state through a portable terminal and to enable admittance without a ticket by performing access from the portable terminal to a computer network, performing reservation to a server and holding reserved contents in the portable terminal.

**SOLUTION:** A user 11 performs access from a portable telephone 33 through an internet 3 to a server 13. Then, the user 11 designates a code showing the boarding reservation, the date and time of boarding, the flight number and the class of a seat or the like. A reservation agent company 5 performs access to a server 17 installed at an air line company 7. A computer 19 at the air line company 7 confirms whether the seat of the designated airplane can be secured or not through a boarding reservation data file 21. When the seat can be reserved, the user 11 make reservation for the ticket. At such a time, the user 11 inputs his ID number. The computer 19 prepares the information of charging to the user 11. Next, the reserved contents are sent to the portable telephone 33 and held. Namely, the flight

number, the date and time of boarding and the time of departure or the like are held in the portable telephone 33.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(10)日本国特許庁(J P)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-184935

(43)公開日 平成11年(1999)7月9日

(51)Int.C1<sup>4</sup>

G 0 6 F 19/00

識別記号

F I

G 0 6 F 15/20

審査請求 未請求 請求項の数8 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願平9-346837

(22)出願日 平成9年(1997)12月18日

(71)出願人 556045370

ジョルダン株式会社

東京都新宿区百人町2-27-4 第3吉原ビル

(72)発明者 佐藤 俊和

東京都新宿区百人町2-27-4 第3吉原ビル ジョルダン株式会社内

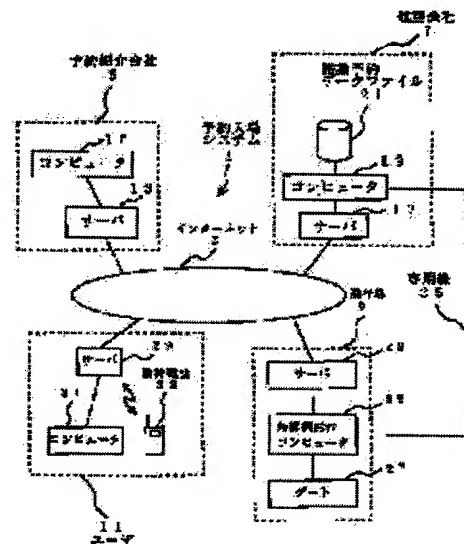
(74)代理人 弁護士 井上 誠一

(54)【発明の名称】 予約システム及び入場システム

(57)【要約】

【課題】 携帯型端末装置で自らの予約状況を確認できる予約システムを提供し、更に、切符なしで入場できる入場システムを提供すること

【解決手段】 携帯電話33から予約会社5を介して飛行機の予約を航空会社7に申込み、予約できれば、携帯予約データファイル21に予約内容が登録されるとともに、携帯電話33に予約内容が送られ保持される。予約を確認する場合、で携帯電話の予約内容を読み出す。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 携帯型端末装置からコンピュータネットワークにアクセスし、所定のサーバに対して予約を行い、携帯型端末装置に予約内容が保持されることを特徴

とする予約システム。

【請求項 2】 前記携帯型端末装置は、携帯電話、PHS、携帯型コンピュータを含むことを特徴とする請求項 1 記載の予約システム。

【請求項 3】 前記携帯型端末装置には、前記携帯型端末装置の利用者が前記携帯型端末装置以外を用いて予約した予約内容も保持されることを特徴とする請求項 1 記載の予約システム。

【請求項 4】 前記携帯型端末装置で予約内容を確認する場合、前記携帯型端末装置に保持された予約内容を読み出すことを特徴とする請求項 1 記載の予約システム。

【請求項 5】 前記携帯型端末装置で予約内容を確認する場合、前記携帯型端末装置から前記所定のサーバにアクセスし、予約内容を確認することを特徴とする請求項 1 記載の予約システム。

【請求項 6】 前記サーバは、予約が行われると、課金情報を作成することを特徴とする請求項 1 記載の予約システム。

【請求項 7】 携帯型端末装置から信号を送ると、予約内容を保持したサーバに対してアクセスされ、予約がある場合には、前記携帯型端末装置の利用者の入場を許可することを特徴とする入場システム。

【請求項 8】 予約内容を保持したサーバと、入場口付近に備えられたゲートを制御するコンピュータと携帯型端末装置からなり、前記携帯型端末装置が前記コンピュータに信号を発すると、前記コンピュータはこの携帯型端末装置の利用者の有無を前記サーバに対して問い合わせ、予約がある場合は、前記ゲートを開くことを特徴とする入場システム。  
**【発明の簡単な説明】**

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯型端末装置で各種切符の予約を確保できる予約システムと、切符等の必要な入場システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 現在、プッシュ電話機、または、パソコンを電話回線に接続して、JRの座席予約または銀行の残高照会、株式情報収集、航空券予約等、各種の予約及び紹介サービス等を自動で行うことができる。一方、携帯電話や、携帯型ビジネス用パソコン等は、急速な普及で普及し、オフィス離れた場所からも、オフィスのデスクにいるように、必要な情報を入手したり、自ら集めたデータ等を送信し、効率よく仕事ができるようになりつつある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しがしながら、予約の

内容を確認したい場合は、オフィスや自宅のコンピュータから確認しなければ成らない。また、現在、予約が電話等で行えても、結局、切符がないと入場できない。切符を受け取るためには、発券所に出向かなければ成らない。更に、切符を受け取っても、紛失してしまうこともある。

【0004】 本発明は、このような問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、携帯型端末装置で自らの予約状況を確認できる予約システムを提供し、更に、切符なしで入場できる入場システムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 前述した目的を達成するために第 1 の発明は、携帯型端末装置からコンピュータネットワークにアクセスし、所定のサーバに対して予約を行い、携帯型端末装置に予約内容が保持されることを特徴とする予約システムである。

【0006】 第 2 の発明は、携帯型端末装置から信号を送ると、予約内容を保持したサーバに対してアクセスされ、予約がある場合には、前記携帯型端末装置の利用者の入場を許可することを特徴とする入場システムである。

【0007】 第 3 の発明は、予約内容を保持したサーバと、入場口付近に備えられたゲートを制御するコンピュータと携帯型端末装置からなり、前記携帯型端末装置が前記コンピュータに信号を発すると、前記コンピュータはこの携帯型端末装置の利用者の有無を前記サーバに対して問い合わせ、予約がある場合は、前記ゲートを開くことを特徴とする入場システムである。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態について説明する。図 1 は本発明の実施の形態に係る予約入場システム 1 のハードウェアの構成図であり、予約入場システム 1 は、予約紹介会社 5、航空会社 7、飛行場 9、ユーザ 11 がインターネット 3 により結ばれている。またコンピュータ 19 と無線機能付コンピュータ 25 は、専用線 35 で結ばれる。

【0009】 予約紹介会社 5 にはサーバ 13、コンピュータ 15 が備えられる。航空会社 7 にはサーバ 17、コンピュータ 19、搭乗予約データファイル 21 が備えられる。飛行場 9 には、サーバ 23、無線機能付コンピュータ 25、ゲート 27 が備えられる。ユーザ 11 は、コンピュータ 31、携帯電話 33 を有し、コンピュータ 31 はサーバ 29 に接続される。予約紹介会社 5 は、ユーザ 11 から飛行機等の予約を受けると、航空会社 7 に所望の飛行機の座席等の有無を問い合わせ、予約を行う。

【0010】 航空会社 7 のコンピュータ 19 は、搭乗予約データファイル 21 を管理する。搭乗予約データファイル 21 は、予約者の ID 番号、搭乗日時、フライトナンバー、座席のクラス、座席番号、出発時刻等の情報を有

する。

【0011】無線機能付きコンピュータ25は、搭乗口のゲート27を制御し、ユーザ11の予約の有無をコンピュータ19に問い合わせ、予約を確認できれば、ゲート27を開ける。

【0012】サーバ29は、ユーザ11の加入するインターネットのプロバイダで、コンピュータ31や、携帯電話33からの発信を受け、予約紹介会社5のサーバ13にアクセスして、飛行機等の予約を問い合わせる。

【0013】予約入場システム1では、まず、携帯電話33からインターネット3を介して予約紹介会社5にアクセスし、飛行機の予約を問い合わせ、予約紹介会社5は、インターネット3を介して、航空会社7に予約を申し込む。

【0014】そして、予約が完了した場合、携帯電話33を利用するユーザ11は、飛行場9の搭乗口において、携帯電話33から、無線機能付きコンピュータ25に向けて信号を発信すると、搭乗口のゲート27が開き、飛行機に搭乗できる。

【0015】次に、予約入場システム1の予約処理について説明する。図2は、予約処理の概要を示すフローチャートである。図2に示すように、ユーザ11は、携帯電話33から、インターネット3を介してサーバ13にアクセスする（ステップ201）。

【0016】そして、ユーザ11は、搭乗予約であることを示すコード、搭乗日時、フライトナンバ、座席のクラス等を指定する（ステップ202）。

【0017】次に、予約紹介会社5は、インターネット3を介して航空会社7に設置されたサーバ17にアクセスする（ステップ203）。航空会社7のコンピュータ19は、指定された飛行機の座席が確保できるかを搭乗予約データファイル21で確認する（ステップ204）。

【0018】指定された飛行機の座席が確保できない場合は、サーバ13は予約の失敗を携帯電話33に伝え（ステップ210）、予約内容を変更することを促す。携帯電話33のユーザ11が予約をやり直す場合（ステップ211）、ステップ202に戻り、指定した予約の内容を変更する。予約をあきらめる場合は、予約処理は終了する。この時、予約内容に近く、空いている飛行機の空き状況を、携帯電話33に表示してもよい。

【0019】予約できる場合（ステップ204）、ユーザ11は、切符の予約を申し込む（ステップ205）。この時ユーザ11は、ID番号を入力する。ID番号は、携帯電話33の電話番号とすることもできる。コンピュータ19は、搭乗予約データファイル21の該当飛行機の座席を予約室がりの状態にし、ユーザのID番号等を記録する（ステップ206）。

【0020】この時コンピュータ19はユーザ11に対する課金情報を作成する。課金情報は、後日、ユーザ1

1に送られるが、または予めユーザ11が、航空会社に対して、口座を開いて、ある程度の金額を収めておき、そこから料金を、取るようにしてもよい。また、課金に関しては、クレジットカードや電子マネーを用いて決済してもよい。

【0021】次に携帯電話33に予約内容が送られ保持される（ステップ207）。即ち、携帯電話33には、フライトナンバ、搭乗日時、出発時刻等が保持される。またユーザ11がコンピュータ31から予約を行う場合も、前述したのと同様の処理が行われ、携帯電話33に予約内容が保持される。即ち、ユーザ11がどのような方法で予約を行っても、携帯電話33には予約内容が保持される。

【0022】次に、予約の確認処理について説明する。携帯電話33には前述したように、予約内容が保持されているので、ユーザ11は予約内容を確認したい場合は、携帯電話33に保持されている予約内容呼び出して確認する。このように、ユーザ11は容易に予約内容を確認することができる。

【0023】また、図3に示すように航空会社7の予約データファイル21を用いて予約の確認をすることもできる。図3に示すように、ユーザ11が、予約内容を確認する時は、まず、携帯電話33から、サーバ13にアクセスし、（ステップ301）、更に、サーバ13からインターネット3を介して航空会社7に設置されたサーバ17にアクセスする（ステップ302）。

【0024】サーバ17にアクセスされ、携帯電話33から、飛行機の搭乗予約の確認であることを示すコードや、ID番号を入力すると（ステップ303）、コンピュータ19は、指定されたID番号の予約内容を搭乗予約データファイル21から探す。

【0025】指定されたID番号で予約された内容があれば（ステップ304）、予約内容が携帯電話33に表示される（ステップ305）。

【0026】次に、入場処理について説明する。図4は、入場処理を示すフローチャートであり、図5は、飛行機の搭乗口の入場装置を示す図である。図5に示すように、入場装置は無線機能付きコンピュータ25と、ゲート27からなり、搭乗者41（ユーザ11と同一人）が、携帯電話33から、無線機能付きコンピュータ25に信号を送り、予約があれば、ゲート27が開いて、搭乗者41は入場できる。

【0027】まず、搭乗者41は、飛行場9の搭乗口で携帯電話33の発信ボタンを押し、ID番号等を、無線機能付きコンピュータ25に送る（ステップ401）。無線機能付きコンピュータ25は、専用線35を介して、コンピュータ19に信号を送り、コンピュータ19は、搭乗予約データファイル21で携帯電話33から送信されたID番号を検索する（ステップ402）。

【0028】無線機能付きコンピュータ25は、搭乗予

約が有れば（ステップ403）、ゲート27を開くが（ステップ404）、搭乗予約が無ければ、ゲート27を開かない。このように、搭乗者41は、切符を用いずに飛行機に搭乗できる。尚、前述した実施の形態では、携帯電話33を用いたが、携帯電話33に替えてインターネットアクセス機能付きPHSや、PHS付き携帯型小型コンピュータ（PDA）を用いてもよい。

【0029】なお、本発明は、前述した実施の形態以外に、様々な変形例を考えることができる。例えば、

（1）インターネット3に代えて、パソコン通信を用いてもよい。（2）また、航空会社7が予約紹介会社5を兼用してもよい。この時予約紹介会社5のサーバ13、コンピュータ15の機能をサーバ17、コンピュータ19が果たす。（3）また図1に示すサーバ23はインターネット3に接続されない場合もある。（4）ユーザ11が航空会社7にアクセスする場合、インターネット3を介さずに、パソコン通信または、プッシュホン予約等を利用することもできる。

【0030】また、前述した説明は、航空券の予約と飛行機への搭乗を例にしたが、本システムは、切符を発行して、それにより入場を許可する業務に幅広く利用することができる。例えば、映画、コンサート、観劇への予約確認や入場、JRや各私鉄への入場と退場等に本発明を適用できる。

【0031】また、本システムは、利用者にとって、利便性があるだけでなく、従来行っていた、発券業務を省略することができる。つまり、発券作業に伴うすべての

業務、発券機はもとより、切符、切符発券業務に伴う作業者を全て省略できる。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、携帯型端末装置で自らの予約状況を確認できる予約システムを提供し、更に、切符なしで入場できる入場システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施の形態に係る予約入場システムのハードウェア構成図

【図2】予約処理の概要を示すフローチャートフローチャート

【図3】予約確認処理の概要を示すフローチャート

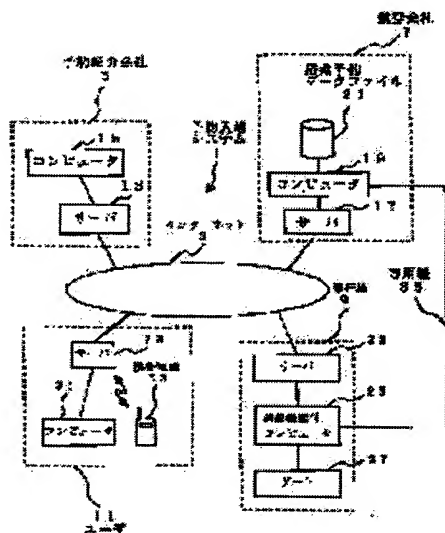
【図4】入場処理の概要を示すフローチャート

【図5】飛行機搭乗口の入場装置を示す図

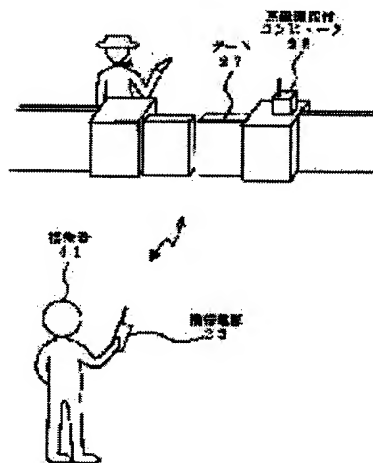
【符号の説明】

- 1 ……予約入場システム
- 3 ……インターネット
- 5 ……予約紹介会社
- 7 ……航空会社
- 9 ……飛行機
- 13、17、23 ……サーバ
- 15、19、31 ……コンピュータ
- 21 ……搭乗予約データファイル
- 25 ……無線機能付きコンピュータ
- 27 ……ゲート
- 33 ……携帯電話

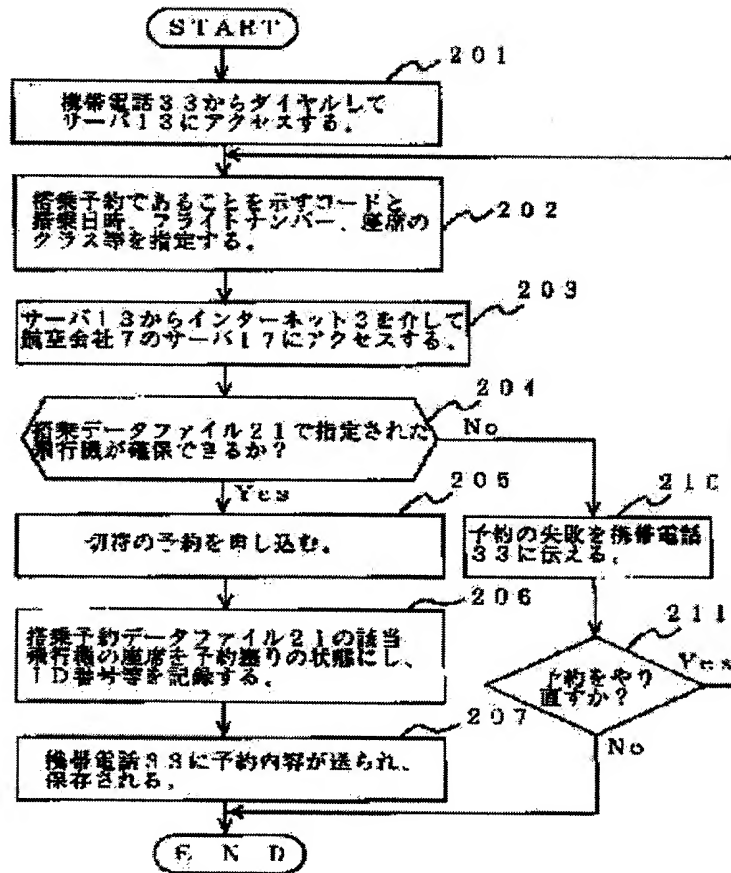
【図1】



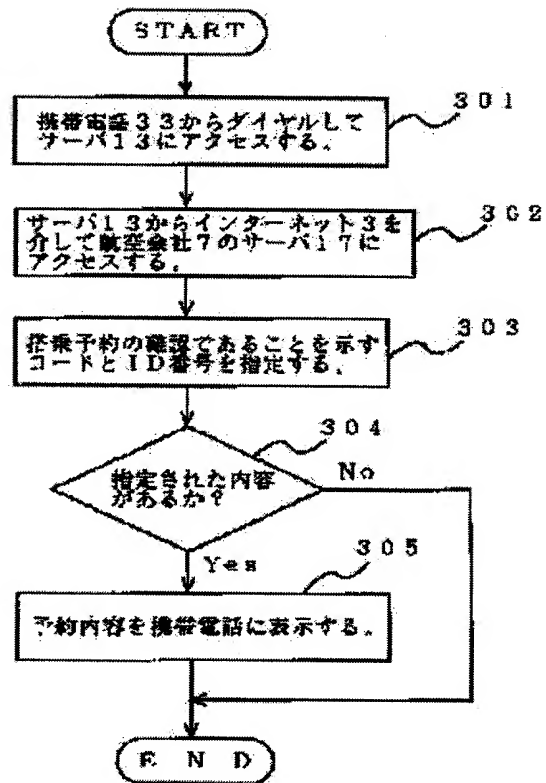
【図5】



【図2】



【図3】



【図4】

